

〔No. 13〕

図 13 に示す水準点 A ～ D において、公共測量における 2 級水準測量を実施し、表 13 の観測結果を得た。点検の結果、環閉合差が許容範囲を超えたことから往路及び復路の再測を行うこととした。再測路線として最も適当なものはどれか。次の 1 ～ 5 の中から選べ。

ただし、環閉合差の許容範囲は $5 \text{ mm}\sqrt{S}$ (S は観測距離, km 単位) とする。

なお、関数の値が必要な場合は、巻末の関数表を使用すること。

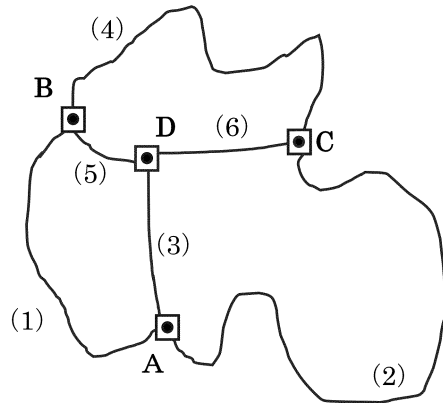


図 13

表 13

路線番号	路線方向	観測距離	観測高低差
(1)	A → B	5 km	+6.954 m
(2)	A → C	10 km	+3.411 m
(3)	A → D	3 km	+1.840 m
(4)	B → C	5 km	-3.542 m
(5)	B → D	1 km	-5.135 m
(6)	C → D	3 km	-1.599 m

1. 路線 (1)
2. 路線 (2)
3. 路線 (3)
4. 路線 (4)
5. 路線 (5)